

# はなわ 議会だより

2016

No.133

発行/福島県 塙町議会  
平成28年1月22日



## 12月定例会

木は「宝」資源を生かす町へ…P 2

人口減少対策は町づくり…P 4

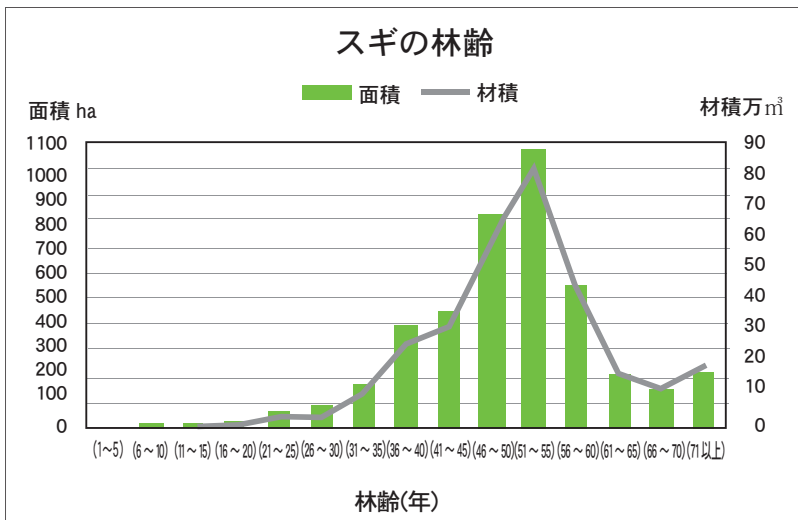
意見交換会に多くの町民…P 6

5議員が一般質問……………P10

空が近いね (塙保育園 園開放)

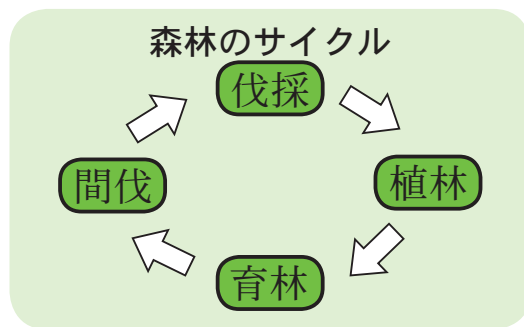
# 木は「宝」資源を生かす町づくり

公共施設等への木材の積極的利用  
木の町としての将来ビジョンの策定  
ふくしま森林再生事業を契機とした林業経済循環の仕組みづくり



## 林業の課題

永続的林業経営のために伐採、植林、育林、間伐のサイクルができていなければならない。  
また、皆伐された森林が植林されず放置されないように新たな施策が必要である。



## 森林再生事業

町では平成27年度から本格的に森林再生事業に取り組んでいる。  
所有者の同意を得て、間伐などの森林整備と斜面の土砂流出防止柵の設置など放射性物質の山からの流出防止を町が行う。森林整備は間伐・下刈り・植栽・作業道の開設などで、伐採した木は所有者が販売できる。大蔵地区から始まり平成32年度まで実施予定である。



埴町の丸太の生産量は県内の約10%を占める

議会は平成27年3月、「林業振興対策調査特別委員会」と「少子高齢化調査特別委員会」を設置し、町の課題に取り組んでまいりました。このほど報告書がまとまり、12月定例会にそれぞれ提出しました。この報告書から町が今、行うべきことを林業振興と少子高齢化に関する決議として議決しました。

**可決**  
林業振興（木の町はなわ）に関する決議

林業振興対策調査特別委員会は3月定例会において「林業振興対策に関する調査研究」をするため設置した。委員会は福島県職員から県南地方の森林林業の現状と課題、東白川郡森林組合職員から東白川地方の森林林業・木材産業の現状と課題についての意見聴取を行い、最終報告書を取りまとめた。

## 森林資源構成表

(平成26年度福島県森林・林業統計書)

	総土地面積 (ha)	森林面積計 (ha)	森林率	民有林率	民有林	
					材積 (m³)	面積 (ha)
埴町	21,160	17,420	82.3%	48.2%	3,115,811	4,225
棚倉町	15,982	12,102	75.7%	52.6%	1,886,783	2,546
矢祭町	11,822	9,496	80.3%	67.2%	2,613,747	3,446
鮫川村	13,130	9,825	74.8%	61.8%	2,029,144	3,047
白河市	30,530	17,465	57.2%	70.9%	2,104,141	3,349

## 8割が森林の現状

町の面積の8割が森林でその約半分が民有林である。森林率は県南地方で一番高い。森林材積（体積）の80%以上を占める。スギの学名は、クリプトメリア・ジャポニカ。「隠された日本の財産」という意味がある。日本固有種で利用価値が高いと言われてきた。しかし、ほとんどが林齢（年齢）50年以上で、近年は造林がされず若い世代の木が少なくなっている。

町内の二つの木材市場では震災以降、需要の高まりにより販売量が増加している。また、低下し続けてきた木材価格も、復興住宅需要により若干値上がりしている。

## 議員の意見

### 「木」は町の財産

木はわたしたちの身近にあるが、身近であるがゆえに「資源」という宝であるのを忘れていたのではないかと。埴町が埴町として誇れるものは木であり、山林である。隠された町の財産を活用するために「木の町はなわ」として、町の事業だけでなく、町全体が積極的に木を利用し、これからの林業について考えていくことが必要である。まずは、木材利用のための施策が必要ではないか。

町は「木の町はなわ」を内外に示すため木材生産や製材の視点だけでなく、広く観光資源としての利用も含めた総合的林業ビジョンを策定し、そこから本格的に町の林業振興を進めるべきである。

# 人口減少対策は町づくり



## 子育て支援

少子化の原因は晩婚・未婚化により1人当たりの出産数が減ることである。女性の就業率が高いほど出生率は高く、三世帯同居率が高いほど、女性の就業率が高いというデータがある。

したがって、女性の働く場を確保し、仕事を続けながら子育てができる環境整備が必要である。

埒保育園では施設の老朽化、保育士不足、待機児童などの問題がある。

幼稚園では園児の減少による統合の検討が必要である。

放課後児童クラブの拡充や、育児不安解消の場の確保など子育て環境整備の課題は多い。

## 健康増進

高齢者が元気で働き続けることが、生きがいにもなり社会を支えることにもつながる。また、高齢者だけでなく、一人ひとりの健康がとて重要である。各家庭まかせの健康への取り組みだけでは偏りや限界がある。地域ぐるみ町ぐるみでの健康づくりが必要。

町には「健康の保持増進を図り、明るく住みよい地区をつくる」ことを目的に保健推進員がいる。この活動を強化し、地域から発信する健康づくりを進めるべきである。

## 定住促進

埒町には若者向けのアパート・貸家が少ない。また、学校に近い場所・町の中心部で新しく宅地化できる土地が少ないことが聞き取り調査でわかった。

町内に住みたくても住めない若者を定住させるため、町中心地の宅地造成などが必要である。また、近隣の大手企業などに勤務する若者向けのベッドタウン化や、三世帯同居を進めるための施策も必要である。



住宅建築は進んでいるが

### 決議の要旨

- 1 婚活サポーター（仮称）の設置などによる結婚促進
- 2 子育て関連環境整備など埒町子ども・子育て支援事業計画の具現化
- 3 子育て家族交流の場の拡充
- 4 三世帯同居促進施策
- 5 中心地に宅地化を促す施策を含めた若者向け居住環境の整備
- 6 全町的健康増進運動推進のための保健推進員活動の充実強化

### 未来に向かって

議会の意見

総人口の減少も問題だが、生産年齢人口（15歳～65歳）の減少によって地域経済が停滞し、埒町が埒町でなくなってしまうことが問題である。

人口を増やすことも重要だが人口が減った中でも豊かに健康で暮らし続けることができ、町づくりが必要なのではないか。

そのためには地域の特性を生かした就業の場確保などが最も重要である。地元に住み、元気で働き続けることのできる町づくりを目指していくことこそ人口減少対策・少子高齢化対策なのではないだろうか。

### 決議とは…

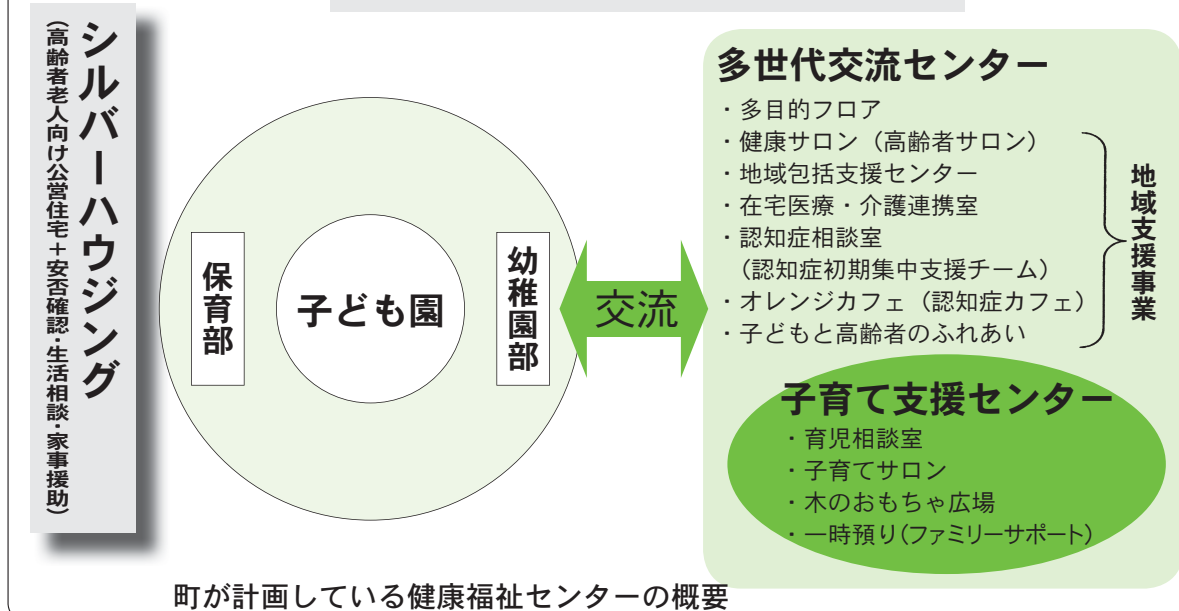
議会の主な仕事は、条例（きまり）や予算（お金を何に使う）など町の重要事項を決定することですが、そのほか議会の意思（「思い」や「考え」）を表すための決議があります。

今回、林業振興（木の町はなわ）に関する決議と少子高齢化対策に関する決議を行いました。内容は、町が今すぐ取り組むべきと議会が考えたことです。

この決議は、条例や予算と違って、法的に守らなければならないことはありませんが、町民の代表である町議会の意思として尊重されなければなりません。

## 町の少子高齢化対策にももの申す

### 子どもとお年寄りの交流の場



町が計画している健康福祉センターの概要

町は、少子高齢化に対応するため健康福祉センターを計画している。そのイメージは上図のとおりである。

保育園と幼稚園を統合した子ども園、一時預かりなどの子育て支援と介護教室など高齢者のケアを一体的に行う多世代交流センター。また、高齢者向け住宅のシルバーハウジングと3施設が検討されている。

議員からは、お年寄り子どもが交流できるよう、3施設を一体として計画すべきではないかなどと意見が出された。

# 意見交換会開催

12月21日埴農村勤労福祉会館において30名の町民の方と意見交換会（議会報告会）を行いました。議会の活動報告後、子育て・農林業振興など活発な意見交換が行われ、実り多き意見交換会となりました。

# 埴町の今を 未来を 議員と語ろう



**議員** 早めに広く周知するように町に話している。町の広報紙などに目を通していただきたい。  
**少子高齢化 人口減少 対策について**  
**意見** 働く場所の確保と人口増加を図る施策

など、長期的展望に立ってやらないといけないのではないか。  
**議員** 町の中心地に若者が家を建てる場所がない。対策をするべきである。  
**意見** 人口減少に対する議会の認識は。

# 議会への質疑・意見

**子育て支援について**  
**意見** 保育園に子どもを預けて働きたい母親が多いが条件があり預けられない。なんとかならないか。  
**議員** 現在、定員オーバーで難しいが、今後子ども園の整備により解決できると思う。早急に取り組むべき問題と認識している。

**意見** 待機児童を減らすよう町に働きかけてほしい。  
**議員** 保育士が集まらない状況であり町も困っている。

**意見** 子どもの一時預かりができるようにならないか。  
**議員** 保育園での預かりになると思うがまだ進んでいない。

**議員** 議会の考えを参考にしていただきたい。  
※4〜5ページに掲載

**議員定数削減について**  
**意見** 定数削減は考えているか。  
**議員** 平成23年度に検討した結果、定数を維持し、報酬を減した。次の任期で検討が必要である。

**その他の質問**  
**意見** 上町地内の通学路が狭くて困る。なんとかならないか。  
**議員** 道路拡幅を県に陳情している、今後も継続していく。

**意見** 町の橋や道路は安全か。  
**議員** 橋については国の補助事業で診断、修繕を行なっている。

**意見** 子ども園はまだ先のことである。今すぐできる子育て支援についてどのように考えているか。  
**議員** 赤ちゃんの紙オムツ支給や幼稚園の無料化などが考えられる。しかし、若者定住施策と一体でやらないと効果がない。

**農林業の振興について**  
**意見** 米の消費が伸びず米価が下落している、6次化の観点からどぶろく特区制度を利用してはどうか。  
**議員** 町に働きかけているがいろいろ制限もありまだ実現していない。

**意見** 林業振興の観点から林業研修所の設置が有効と思うが進捗状況は。  
**議員** 現在、県と協議し、陳情もしている。設置は郡全体で前に進めたい。

**意見** カーボンオフセットに取り組んでもらいたいが。  
**議員** 個人での事業もあり町に勧めている。

**意見** 杉丸太や炭について、放射能の数値は大丈夫か。  
**議員** 安心であると思う。ただキノコの原木はまだ使えない。

**意見** ふくしま森林再生事業についての情報が少ないと思うが。

## 子育て支援 実現は議員の力量

### 参加者の声

意見交換会を終えて皆さんからいただいた感想の一部を掲載します。

- ・子育て支援は、住民の要望にきちんと対応できる施設の確保に努めなければならぬ。今できることを明確にして予算を付け、責任も明確にして欲しい。それを具現化できるのは議員の力量です。
- ・「木の町はなわ」は大きなテーマです。埴の特産品として商品化できるのか、力強いリーダーの育成（若者）にどう取り組んでいきたいと思います。
- ・子育て支援は、住民の要望にきちんと対応できる施設の確保に努めなければならぬ。今できることを明確にして予算を付け、責任も明確にして欲しい。それを具現化できるのは議員の力量です。
- ・「木の町はなわ」は大きなテーマです。埴の特産品として商品化できるのか、力強いリーダーの育成（若者）にどう取り組んでいきたいと思います。
- ・グループ別にして、町民の多くの声を聴く方策を考えたい。有意義だったのでないか。質問者が固定化してしまつて何か一部分の話し合いになつてしまったように思える。深まりと幅広い話し合いができるようになればよかつた。話し合いの方法を変えなければ。

いのか。それを職業として生活していけるのか、町のサポートが重要である。

・年間事業で無駄に予算を使つていないか。計画立案の時点で予算の使い方を見直してほしい。

・グループ別にして、町民の多くの声を聴く方策を考えたい。有意義だったのでないか。質問者が固定化してしまつて何か一部分の話し合いになつてしまったように思える。深まりと幅広い話し合いができるようになればよかつた。話し合いの方法を変えなければ。

12月定例会は12月10日から14日までの会期で開催され、条例制定、補正予算など町提出議案12件・議員提出2件を審議し、全議案を可決しました。一般質問では5名の議員が登壇し、町の姿勢をただしました。

## 12月定例会

### 条例の制定

個人番号の利用等に関する条例  
行政手続きにおける個人番号を独自で利用する場合や庁内連携する場合の条例制定。

### 条例の改正

人事行政の運営等の状況の公表に関する条例  
地方公務員法及び地方独立行政法人法の改正による。

### 税条例等

地方税法施行規則などの改正による。  
復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例

関係法令などの改正による。

### 質疑

**復興産業集積区域とは**  
藤田(一) 復興産業集積区域はどこか。  
答弁 工業団地・植田・一本木地区。工場が進出できる区域を指定している。

**藤田(一)** 一本木地区指定の理由は。  
答弁 以前、バイオマス発電所関係の企業進出計画により指定した。

### 補正予算

**一般会計(第5号)**  
町税の収入増、農村勤労福祉会館工事請負費の減、道路維持工事の増  
ほか5特別会計

### 補正予算のあらまし

会計名	補正前の額	補正後の額
一般会計	1823万円	67億8039万円
国民健康保険特別会計	1707万円	12億4547万円
農業集落排水処理事業特別会計	△11万円	1億5871万円
公共下水道事業特別会計	49万円	2億863万円
介護保険特別会計	△1403万円	9億5202万円
後期高齢者医療特別会計	24万円	9958万円
計	2189万円	94億4523万円

### 質疑

**公売システムとは**  
藤田(一) インターネット公売システムと手数料とは。

答弁 税滞納者の財産売却をインターネットで行う。その手数料である。  
吉田 手数料は何%

### 陳情

埴町商工会・埴サービス会からの陳情

### 契約の締結

工事請負契約について  
埴中学校柔剣道場改築工事  
金額 1億2693万2400円  
相手方 深谷建設株式会社  
1階建て、柔剣道場、更衣室、トイレ、倉庫を建設

### 質疑

**落札率は**  
鈴木(安) 落札率は。  
答弁 落札率は92%である。  
**入札の条件**  
大縄 条件付き競争入札とは。  
答弁 東西白河管内で指名業者格付けが90点以上の条件で入札参加を受け付けた。

か。売却した場合の登記料は誰が支払うのか。  
答弁 落札価格の3%と消費税。登記料は落札者が支払う。  
町では差し押さえた滞納者の財産をインターネットオークションで公売するシステムを利用している。

**町職員の狩猟免許取得**  
藤田(一) 町職員がなぜ狩猟免許を取得するのか。  
答弁 被害に迅速に対応できるよう罝を仕掛ける免許を取る。免許所有の人数により補助金額が変わる。

**機構集積協力交付金**  
藤田(一) 交付金の内容と中間管理機構とは。  
答弁 湯岐地区などで農地集約に取り組む計画。農地集約のため農地の貸し借りの仲介をする。本機構を利用することで交付金が受けられる。

**折籠地区農道経済比較効果算定業務委託料**  
藤田(一) 減額理由は。  
答弁 調査した結果、基準に満たず実施できなかった。今後、他の補助事業を検討したい。  
**設計委託は必要か**  
藤田(一) 常豊小のエアコン設置工事は設計を委託せず施工業者の入札などで対応できないか。  
答弁 教室がオープンスペースとなっているため設計が必要である。

### ふるさと納税

藤田(高) ふるさと納税事業委託料の内容は。  
答弁 謝礼品のネット公開などの委託である。12月から本格スタートし、これまで263人、774万円の申し込みがあった。

藤田(一) 入札は何社だったのか。  
答弁 深谷建設、常豊工務店、藤田建設、高田工業の4社である。

**指名業者格付け**  
・工種により経営規模や技術力・実績などを点数化し、ランク付けしたもの。

町ではホームページ上でふるさと納税の受け付けをしている。納税の申し込みや返礼品(130品目)を選べ発送までJTB西日本などに管理委託をしている。

### 質疑

**公営企業会計システム**  
吉田 どのようなシステムか。  
答弁 水道事業の会計システムで毎日の伝票処理、支払事務など予算管理から決算処理まで経理事務すべてのシステムである。  
鈴木(安) 契約期間が1年と5年で金額の差はあるのか。  
答弁 電算機器及びソフトウェアの耐用年数が5年のため5年契約とした。一月当たり10万5300円。

### 補正予算

**一般会計補正予算(第4号)**  
3548万4千円を増額し、補正後の額を67億6215万7千円とする。普通交付税の増、台風災害復旧工事費の増、下植田橋修繕工事費の減など

### 質疑

**防災活動車の形状は**  
小林 形状は。  
答弁 四輪駆動車で災害時の出動、予防活動に活用する。



配備された防災活動車



建築中の柔剣道場

**除雪機購入**  
鈴木(茂) 除雪機購入補助金の利用状況と告知方法は。  
答弁 3年間で14団体に18台。360万円補助した。広報はなわで告知している。

### 人事

**教育委員会委員の任命**  
星 春美さん(大町) 同意

# 震災後の防災計画は 現在、見直ししている

質問 東日本大震災以降、防災計画の③防災マップ・洪水ハザードマップは見直したのか。避難所が記載されている場所が分かりにくい。看板を設置する考えはないか。

回答の。か。

答弁

葛飾・練馬区などからいただいた救援物資の多くは町民に配布した。残った毛布などは旧薩摩酒造倉庫に保管している。災害用備品は行政区にはないが、防災センターに乾パン、飲料水などを備蓄している。

質問

災害時は電気や水などのライフラインが心配。停電時でも使えるものが。また、すぐ被災地に届けられるよう地区公民館や消防屯所に備蓄品を置くべきと考えるが。

答弁

備蓄品は必要なものを計画的に整備したい。屯所などは狭いので多くは置けない。屯所への配備もやぶさかではないが消防団の意見を聞きながら進めたい。

災害弱者に優しい町づくりのために民生委員やボランティア組織を横断的に結び付ける役割をどのように果たすのか。特に電話などが使えない状況も想定すべき。

質問

ケースバイケースだが地域で見守りをしていく方々、消防団員などが対応できると考える。様々な災害に対応できるように訓練・検

答弁

福島県警では高齢者の一人住まい家庭に「なりすまし詐欺電話撃退装置」を計画的に貸与するという。できるだけ多くの世帯にいきわたるように町でも行う考えはないか。

なりすまし詐欺  
撃退装置の貸与を  
検討したい

質問

福島県警では高齢者の一人住まい家庭に「なりすまし詐欺電話撃退装置」を計画的に貸与するという。できるだけ多くの世帯にいきわたるように町でも行う考えはないか。



鈴木 安次

町民の皆様の安心安全を願って

討も必要になつてく

答弁

対策の基本は、高齢者見守り隊などが詐欺にあわないよう注意喚

起することだと思っ警察署の貸し出し状況をみて検討したい。



なりすまし詐欺  
電話撃退装置

防げ！  
なりすまし詐欺  
棚倉警察署では、なりすまし詐欺電話で撃退装置を貸し出ししている。着信時に会話が録音されるというメッセージが流れ、録音される。また、緊急時にボタンを押すと家族などに電話される。全50台のうち12台は町内に貸し出しされている。

# AED操作 習得者の増加を 定期的に講習会をしている



鈴木 幸江

身近にあるAED。一人でも多くの人が使えたら安心ですよ。

質問

埴町の年間死因第一位は心臓疾患で全国・県平均より高い。早期の救命措置により救命効果が高くなるという。心肺機能急停止時の救命具「AED」の設置状況は。

答弁

町内各施設に30台設置されている。うち15台は公共施設や学校施設で、そのほか病院、銀行、JAなど民間施設にも設置されている。

質問

いざというときAEDが有効に活用されなければならぬ。AED

質問

教育施設では全職員が望ましい。また、PTA会員対象の

Dは操作講習を受ければ誰でも操作できるものである。講習会の実施状況と今後の対応をどのように考えるか。

答弁

毎年1回公民館で関係者を対象に講習会を行っている。また、各学校や子育てサロンスタップを対象に実施した。AED設置箇所では何らかの講習を行っている。なお、役員職員も定期的に行っており全職員が受講できるように進めている。

講習会があってもよいと思うが。

答弁（教育長）

学校の職員は全員受講している。また、PTAの役員および希望者も受講している。さらに、中学校では生徒対象に授業で実施している。

AED・・・自動体外式除細動器。病気でけいれんした心臓に電気ショックを与え、心拍を回復させる装置。講習を受ければ使用できる。

投票率向上対策を  
啓発に努める

質問

今回の県会議員選挙投票率66・8%は郡内最下位であった。どのように捉えているか伺う。

答弁

町外の候補者であったこと、投票所の減少によると考える。

答弁（選管書記）

思ったより低かった。PR方法を検討したい。

質問

交通弱者を含めた投票率向上対策を伺う。

答弁（選管）

期日前投票制度の活用促進、不在者投票制度の周知徹底を図りながら啓発活動に努めたい。今後、選挙年齢が18歳以上となるがこれらの広報なども強化したい。交通弱者対策をはじめ投票率向上は法律にのっとり対応する。



一人でも多くの操作習得者を

# 公共交通の運行実験の状況は 利用者は少なかった

質問  
公共交通の運行実験の評価は。

答弁  
巡回バスは利用者が少なくデマンドタクシーは現在、実験中。常豊地区のデマンドタクシーの利用者は多かつたが、運行費用・利用料・県補助金をみると町負担額が多くなり検討が必要である。

質問  
再生可能エネルギーの調査研究はしているのか。

答弁  
再生可能エネルギー発電の調査研究はしているのか。

質問  
小水力発電、バイオマス発電は豊富な資源があるので研究するよう指示は出している。

質問  
健康センター  
具体策は  
3施設を振興計画に

質問  
材木町の健康福祉セ



多世代が交流できる施設建設へ

質問  
センター用地の活用計画、開設時期を伺う。

答弁  
幼稚園・保育園を併せた子ども園、多世代交流センター、高齢者向け公営住宅を組み合わせ

わせた施設を検討している。平成28年度から30年度に事業を行う計画で、開設はそれ以降になる。  
※3ページに関連記事



小峰由久

おかげさまで充実した四年間をいただきました。ありがとうございました。

質問  
若者定住策をできることは継続していく

答弁  
若者定住策として企業誘致の優遇策同様、若者優遇策を考えてはどうか。

質問  
若者対策として町内宅地を検討している。

答弁  
若者対策として町内宅地を検討している。

質問  
塙工存続への方策として学生寮を作り、首都圏から生徒を呼び込むのはどうか。

質問  
森林再生事業における全伐後の山林の維持をどうするのか。企業が社会貢献で造林事業を行っている例があるが。

答弁  
植林・下刈りは事業対象だが全伐は対象外である。

全伐後の植林は進んでいないのが現状。所有者の意向によるところが大きい。情報収集に努め有効な方法を模索したい。

# 遊休農地に市民農園を開設しては 前向きに検討したい



鈴木 茂

おいしい野菜を作って、農地がよみがえり、健康になればこれぞまさに一石二鳥である。

質問

遊休農地や耕作放棄地が多い現状を、町長はどのように認識しているか。何らかの対策を考えているか。

答弁  
担い手がおらず、頭の痛い問題である。特産品開発にビニールハウス貸付を行っているが、なかなか成果が見えない。継続が必要と認識している。

質問

町が耕作放棄地を借り上げ町民向けの市民農園としてはどうか。野菜作りで健康増進にもなる。また、定住人口増加のためにはクラ

質問  
インガルテン（滞在型市民農園）も有効である。ぜひ前向きに検討すべきと思うが。

答弁  
市民農園は農地がない方にとつて魅力的かもしれない。土地を借りられれば検討したい。クラインガルテンではないが、今年度よりモデル事業として企業研修の農業体験を行っている。これを発展させていきたい。

質問  
ウォーキング  
グッズで長寿へ  
検討したい

質問  
健康寿命の延伸には運動が必要でありウォーキングは取組みやすい。町独自のグッズやウォーキングマップなどを作って啓蒙奨励してはどうか。

答弁  
健康は自分で守るものだが、その取り組みにはきつかけが必要。町では、健康サロンの行っているほか筋力アップ体操などを検討しているが、ウォーキンググッズやマップはアイデアとしては素



ウォーキングで健康増進

質問  
危険空き家の撤去は解体などの改善命令

答弁  
調査はまだ終了していないが、340軒ほどある。危険度の判定は目視により3段階で判断することになっている。危険な空き家には解体などの改善命令を出すことになる。

質問

道路沿いで老朽化した空き家が見受けられる。現在、空き家調査を行っていると思うが危険な空き家の状況は把握しているのか。また、そのような空き家は通行人や車を守るため持ち主と協議のうえ早急に撤去すべきと思うが。

答弁  
事故が起こらないように個人に解体してもらうよう厳格に対応したい。

町の考えを問う

# 観光を活用した町おこしは 素材を磨き、都市交流を推進

## 質問

観光産業を活用した町おこしについて伺う

## 答弁

外国人が来るように、地域・県内・国内に観光地として観光素材を磨き上げ、魅力あるものとして一気には難しいが少しでも多くの方に来てもらおうと考えている。

観光資源の優位性として「安心・安全な町」の魅力は大きい、大型観光があるわけでないが、東北の中山間の自然豊かな町で人情味あふれる「おもてなし」が優位性としてある。商工会・観光協会と連携、潜在的観光資源の

掘り起こし活動の魅力増進事業として、町内周遊プランの作成、都市交流や企業連携による農業体験を観光の一部として推進して取り組んでいる。

少しずつ埴町の良さをPRするには防災協定を結んでいる都市との交流、練馬区・葛飾区の区民との交流も必要。

自然豊かな昔の田園風景にするため里山を利活用し、山林との共生、加えて久慈川の整備を町村会として県に陳情している。八溝定住自立圏構想事業で、外国語表示を取り入れたパンフレット

ト作成を検討、町でも外国語表記のパンフレット作成を予定している。



笑顔でおもてなし



藤田高志

## ICT活用の雇用創出は 光ファイバーの活用

## 質問

ICTを活用した雇用の創出について伺う。

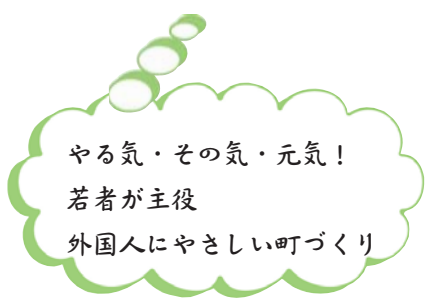
## 答弁

町内全域で各家庭に光ファイバーの整備をした。それを活用し空き家対策も含め、一つの人口増加策とし事業を展開して行く必要性は認識している。町として地方創生プロジェクトチームにおいて戦略を策定している。

ICT・コンピユータやネットワークに関する諸分野における技術・産業・設備・サービスなどの総称

その他の質問  
若者が起業しやすい町づくりについて

※17ページに関連記事



## 2つの議会が来町

### SNSでリアルタイムの 情報発信

10月27日長野県豊丘村議会が来町し、「SNSの取り組みについて」視察した。

フェイスブックやツイッターによる日々の活動の情報発信、会議のお知らせ、埴町議会の議会改革の取組経過から議会基本条例の制定なども併せて説明し、質疑応答を行った。

### タブレット導入の成果は

11月19日山形県川西町議会がタブレット端末の導入経過と現状について視察した。

タブレット端末での議会スケジュールの共有、議会改革の取り組みなどについて説明し、質疑応答を行った。川西町議会は議会日より日本一に輝き、議会活動も盛んである。また、川西町とはダリアを通じ以前から交流が続いている。

## 常任委員会事務調査

### 経済厚生

給水施設の管理を調査  
施設の老朽化、管理の負担が課題  
10月30日経済厚生常任委員会を開催。「給水施設管理事業」と「健康福祉センター整備事業」について調査した。

健康福祉センター用地の旧製材工場の解体作業を視察した(詳細は3ページ)  
委員からは「解体が遅れたのはなぜか」今後、健康福祉センター整備検討委員会は開かれるのか「多くの人が交流できる施設を」などの意見があった。



### 総務文教

焼酎づくりの計画を調査  
課題は販売先の確保  
10月29日、総務文教常任委員会を開催。板庭の旧焼酎工場で米を使った焼酎造りの計画を調査した。

今年度は施設の修繕、原材料の調達、生産規模を調査する。議員からは「施設が老朽化し何年もつのか」「採算は取れるのか」「売るところは決まっているか」「企業がやらないと続かないのでは」「赤字は町が補てんするのか」などの質問があった。





# 追跡レポート ～ 一般質問のその後 ～

過去の一般質問の中からピックアップしその後の動き、現在の状況を調査しました。

# 活動状況をお知らせします

議会活動出欠状況 平成27年10月1日～12月31日 ○出席 ー該当外

年月日	会議名称	藤田高志	吉田克則	鈴木茂	鈴木安次	小峰由久	鈴木孝則	鈴木幸江	小貫初枝	割貝寿一	大縄武夫	小林達信	藤田一男	藤田恵二	鈴木道男
27.10.2	広報常任委員会	○	○	○	ー	ー	ー	○	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
27.10.6	広報常任委員会	○	○	○	ー	ー	ー	○	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
27.10.8	広報常任委員会	○	○	○	ー	ー	ー	○	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
27.10.9	広報常任委員会	○	○	○	ー	ー	ー	○	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
27.10.22	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	私用 遅参	○	○	○	○	○	○
27.10.22	町村議会議員研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27.10.27	議会運営委員会	○	○	○	ー	ー	○	○	ー	○	○	○	ー	○	○
27.10.27	第6回埴町議会臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27.10.27	少子高齢化対策調査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27.10.27	長野県豊丘村議会来町	○	○	○	ー	ー	○	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	○
27.10.29	総務文教常任委員会	○	ー	○	ー	ー	○	○	ー	ー	○	○	ー	ー	○
27.10.30	経済厚生常任委員会	ー	○	ー	○	○	ー	ー	○	○	ー	ー	○	○	ー
27.11.17	栃木県那珂川町議会来町	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	○	○
27.11.19	山形県川西町議会来町	○	○	○	ー	ー	○	ー	ー	ー	○	ー	ー	○	○
27.11.27	少子高齢化対策調査特別委員会	○	○	○	私用 遅参	○	○	○	私用	○	○	○	○	○	○
27.11.27	林業振興対策調査特別委員会	○	○	○	○	私用 早退	○	○	私用	○	○	○	○	○	○
27.12.2	議会運営委員会	ー	ー	ー	ー	ー	○	○	ー	○	○	○	ー	○	○
27.12.2	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	私用	○	○	○	○	○	○
27.12.7	少子高齢化対策調査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	私用	○	○	○	○	○	○
27.12.7	林業振興対策調査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	私用	○	○	○	○	○	○
27.12.7	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	私用	○	○	○	○	○	○
27.12.10-14	第7回埴町議会定例会(12月)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27.12.11	広報常任委員会	○	○	○	ー	ー	ー	○	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
27.12.14	議会運営委員会	ー	ー	ー	ー	ー	○	○	ー	○	○	○	ー	○	○
27.12.14	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27.12.21	意見交換会	○	○	○	○	○	○	○	私用	○	○	○	○	○	○

議員は会議に出席する義務があり、正当な理由がなく欠席すると罰せられることがあります。議会では欠席の正当な理由として、配偶者・同居親族の葬儀(忌引)、病気・けが(傷病)、突発的事故(事故)、その他議長が認める場合です。表ではそれぞれ、忌引、傷病、事故、その他と表記し、それ以外の正当な理由以外の欠席の場合は私用と表記しました。

## 起業支援の相談受け付けます

若者への就業環境整備として起業したい人の相談を受け付けています。商工会はじめ関係機関との連携で相談体制があります。

- ・商工会=創業支援相談(事業計画・資金計画・国県施策活用への助言・融資制度)
- ・福島県=「コラッセ福島内のインキュベートルーム」の紹介、中小企業診断士による相談
- ・白河地区=「産業サポートしらかわ」(人材育成支援、起業家支援、国県施策活用の紹介、企業間情報交換の場)
- ・埴町=産品開発補助金の案内

お問い合わせは まち振興課  
sinko@town.hanawa.fukushima.jp  
(電話 43-2112)までお願いします。

**若者が起業しやすい町づくり**  
質問 若者自ら起業できる環境整備が必要と考えるが。  
答弁 国県の補助金制度などのアドバイスはできる。行政と町民が丸となるべきと考えている。起業希望者を紹介いただければ相談に乗りたい。  
(平成26年6月定例会)

## 議会議員と意見交換しませんか

議会議員と意見交換会をする団体を募集しています。町民または町内に勤務しているおおむね10人以上のグループが対象で、ご希望の会場に伺います。お申し込みは、議会事務局(Tel 43-2150)をお願いします。

### 議会だよりモニターさんの声(前号の感想)

❖表紙、裏表紙について

・若さ、はつらつさ、躍動感が素晴らしい。  
・「議会だより」の文字が読みやすくなり、堅いイメージがなく、身近に感じるのでは。

❖記事内容について

・「ネットいじめは大丈夫？」はタイムリーで分かりやすく、興味深く読んだ人が多かったと思う。  
・財政健全化が進んでいる状況は、わかりやすく数年前からのデータを並べるとよいのでは。  
・山積みしている問題内容を予告・予定のよう前号でお知らせしてみてもいい。  
・議会活動出欠状況は掲載しなければならぬルールがあるのか。この1ページがもっと有効に活用されてもよいのではないか。

❖その他・全体への意見

・追跡レポート良かった。思いやり駐車スペースはもっと早く設置してほしい。  
・監査意見書の「事業の選択」「住民目線の改革実行」という意見と同じ気持ちです。  
・堅実な町政運営だとしみじみ思った。現状を維持するための…。埴町がもっと元気になる、未来に夢のある明るさが感じられる町政運営がもっとあってほしいかと思う。

たくさんのご意見ありがとうございます。

## 埴町議会の「今」をお知らせ

埴町議会ではホームページやフェイスブックで活動状況をお知らせしています。自筆の活動報告書や賛否の状況、会議などの出欠、議会だよりに掲載できない内容もこちらに掲載しています。

埴町議会検索



ホームページ



フェイスブック



ツイッター

皆さんの団体やサークルに議員が伺います。

げつよう かよう  
団体の名称: 月窯倶楽部・火窯倶楽部会

活動場所: 台宿 ふれあいの森入口右奥 代表者: 有坂麻美 TEL43-2850

自然の中で作りたい物を作る

|| 埴の自然に感謝 ||



月窯倶楽部の皆さん

活動は、月窯倶楽部は月4回、火窯倶楽部は月1回、作りたい陶芸作品を作っています。  
通常は電気窯で釉薬を塗り制作してありますが昨年は北原窯を貸していただき、窯つめや窯焚きなども手伝わせていただくという、貴重な体験をされたそうです。



北原窯での作品



窯焚きの手伝いも楽しみのひとつ

陶芸は、自然の恵みを受け作品づくりをしています。埴町の自然に感謝し、穏やかな環境で何に追われていることもなく自由に制作していることがとても幸せですとお話していただきました。

### 編集後記

いまの埴町は堅実な町政運営だとしみじみ感じる。現状を維持しながらも、ますます進む少子高齢化社会の到来を見据え進んでいる。  
今こそ現状の運営に加え、埴町がもっと元気になり、今以上に将来を担う若者たちに夢のある明るさを感じられる町政運営があっても良いと思う。  
埴町の魅力を積極的にアピールし、若者が帰ってきたい町、訪れてみたい町、移住してみたい町づくりが必要。若者たちの知性、感性、行動力を生かす事業を具体化することである。

藤田高志

※議会会議録は、図書館・議会事務局、またはホームページでもご覧になれます。

### 議会傍聴に

### おいでください

次回の定例会は、3月2日から開会される予定です。平成28年度予算などを審議します。氏名の記入など簡単な手続きで傍聴できます。ぜひお出かけください。

### 広報常任委員会

江則茂志	幸克高	鈴木高	鈴木高
長吉	鈴木高	鈴木高	鈴木高
委員長	鈴木高	鈴木高	鈴木高
委員	鈴木高	鈴木高	鈴木高
副委員長	鈴木高	鈴木高	鈴木高
委員	鈴木高	鈴木高	鈴木高
副委員	鈴木高	鈴木高	鈴木高
委員	鈴木高	鈴木高	鈴木高